

令和6年度 シラバス

()

学年	教科 科	科 目	単位数	担当教員	展開	使用教科書	高校生の地理総合（帝国書院）
3	地歴	地理総合	2	虎野 正嗣	必修・選択	副教材名	高校生の地理総合ノート
科目の目標		社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを活用して、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （２）地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 （３）地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の祖地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。					
学習の内容と進め方		・地図や地理情報システムで捉える現代世界、国際理解と国際協力、自然環境と防災の内容について学習し知識と判断力を身につける。 ・地理に関する身近な話題について考える。 ・講義形式で展開するため、ノート、プリント、課題等は丁寧に記録すること。					
学習の留意点		・日常の報道ニュースより地理的話題に興味関心を持ち、世界のどこで起こっているのか世界的視野で考える。□課題解決学習					
評価の観点	知識・技能	地理に関する知識が身につけているか、資料を活用できているか。					
	思考・判断・表現	地理的事象を多角的にとらえ、その影響や意義を判断し表現できるか。					
	主体的に取り組む態度	地理について興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。					
評価規準	知識・技能	A	Bを上回る状況を達成している。				
		B	地理に関する知識が身につけているか、資料を活用できているか。				
		C	Bの状況に達成していない。				
	思考・判断・表現	A	Bを上回る状況を達成している。				
		B	地理的事象を多角的にとらえ、その影響や意義を判断し表現できるか。				
		C	Bの状況に達成していない。				
	主体的に取り組む態度	A	Bを上回る状況を達成している。				
		B	地理について興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。				
		C	Bの状況に達成していない。				

学期	月	予定 時 数	単 元	具体的な学習内容	評価の観点			評価方法等
					知	思	主	
一 学 期	4	1	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム 2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界のお国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき 2部 国際理解と国際協力 1章 世界文化の多様性と国際理解 序説 世界文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	オリエンテーション 1 地球上の位置と地上の現象 2 経度の違いと時差 1 地図の種類 2 地理情報システムの利用 1 国家の領域と国境 2 地図から見る日本の位置と領域 1 グローバル化と多様な結びつき 2 拡大する貿易 3 世界を結ぶ交通・通信 4 観光と人の移動のグローバル化 1 世界文化を考察する視点 1 生活と地形の関わり 2 河川が作る地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 1 生活と気候の関わり 2 熱帯気候と人々の生活	○	○	○	ノート ワーク プリント 課題 小テスト 発表
		2						
		2						
		1						
	5	2						
		1						
		2						
		2						
	6	2						
		2						
		2						
		1						
	7	1						
		1						
1								
小計		25						
二 学 期	8	2	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 5節 多様な生活文化と地理的環境 2章 地理的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題 1節 人口問題 2節 食糧問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題 3部 持続可能な地域づくりと私たち 1節 日本の自然環境と防災 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災	3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 1 生活を支える農業の発展 2 生活を支える工業の発展 1 宗教・民族・言語の多様性 1 国際理解を深めるために 2 世界から見た日本の生活文化 1 地球的課題と解決に向けた目標 1 人口の増加と少子化・高齢化 2 地域で異なる人口問題と取り組み 1 飢餓と飽食 1 都市への人口集中 2 地域で異なる都市・居住問題の取り組み 1 広がる感染症と衛生問題 1 限りある資源・エネルギー 2 地域で異なる資源・エネルギー問題と取組 1 国境を越えて広がる地球環境問題 2 地球温暖化と国際的な取り組み	○	○	○	ノート ワーク プリント 課題 小テスト 発表
		2						
		1						
		2						
	9	2						
		2						
		2						
		2						
	10	2						
		2						
		2						
		1						
	11	2						
		2						
2								
2								
12	2							
	1							
	1							
	1							
小計		31						
三 学 期	1	2	3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え 2章 生活圏の調査と地域の展望	4 火山災害と地域の取り組み 5 地震・津波や火山活動への対策と共生の道 1 さまざまな気象災害 2 気象災害と地域の取り組み 3 気象災害への対策と備え 1 減災への取り組みと被災地への支援 1 地理的な調査テーマの設定 2 事前調査と現地調査 3 調査結果の分析と仮説の検証 4 踏査結果のまとめと地域づくりへの参画	○	○	○	ノート ワーク プリント 課題 小テスト 発表
		1						
		1						
	2	0						
		0						
		0						
		0						
	3	0						
		0						
		0						
小計		4						
合計		60						